

# 令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

## 常陸太田市

### ●地域における現状・課題

- 本市において少子化により、中学校では、生徒数の減少に伴う学校の小規模化、部活動指導者の不足などの課題を抱え、生徒の興味・関心に応じた部活動の設置・運営が困難な状況が増加している。また、団体競技においては単独でチーム編成が出来ず、他校との合同チームという形をとらざるを得ない状況である。
- 本市において休日等の活動の受け皿となる地域スポーツ・文化団体が少なく、地域クラブ活動に対応出来るだけの指導員の確保が課題である。
- 地域クラブ活動に係る収支を踏まえた会費の適切な設定及び困窮世帯への適切な間接補助の構築が課題である。

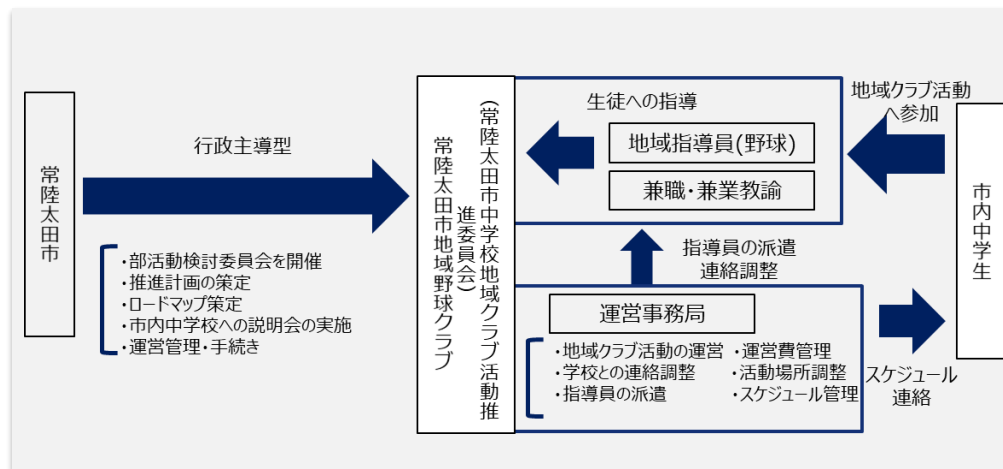
### ●取組事項の概要

- 令和5年度以降に行政主導型による休日の地域部活動の段階的な地域移行の実施
- 推進委員会が休日の地域部活動の事業の主体となり、「常陸太田市地域クラブ」の活動場所に指導者を派遣
- 地域移行で試行運用する「野球部」から検証を進めていく

### ●取組の成果、特に工夫した点等

- 地域指導員を中心に市内合同練習を月2回開催することにより、顧問教員の部活動指導における負担軽減を図ることができ、教職員の働き方改革へつながった。
- 所属中学校に野球部がなかった生徒も、複数の学校からなる拠点校チームとして大会に出場することができた。
- 市内生徒が合同練習に参加することにより、多くのメンバーで練習することができ、練習内容が充実した。また、指導員から専門的な技術指導を受けることができた。

### ●運営体制図



### ●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- 運営類型：行政主導型
- 運営主体：常陸太田市中学校地域クラブ活動推進委員会
- 種目：野球
- 指導者の主な属性：少年野球クラブ指導者、兼職・兼業教諭、学識経験者
- 1か月あたりの平均的な活動回数：4回（土日のいずれか1日3時間）
- 主な活動場所：市内中学校
- 主な移動手段：保護者送迎（自家用車）
- 1人あたりの参加会費等（年額）：800円/年（保険料）
- 1人あたりの保険料：生徒800円/指導者1850円

# 【常陸太田市】 令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 （運動部活動の地域移行に向けた実証事業）

本報告書は、スポーツ庁の「令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（運動部活動の地域移行等に向けた実証事業）」の一環として、茨城県が実施した「令和5年度運動部活動の地域移行に向けた実証事業」の成果を取りまとめたものです。

# 1. 自治体の基本情報

## 基本情報

人口	45,649人	部活動数	57部活
公立中学校数	7校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	常陸太田市中学校部活動の地域移行に係る検討委員会
公立中学校生徒数	858人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	常陸太田市中学校部活動の地域移行（ポンチ図）

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

### 中学校部活動の地域移行の現状について

市内少子化が進んだことで部活動に大きな影響が出ている。一つ目は、自分の所属学校に希望する部活動が無いということ、二つ目は、指導者不足で専門的な技術指導を受けられないということ、三つ目は、学校単独でチームを編成することができないということである。これらの課題を解決し、生徒たちの多様な体験機会を確保することが本市の地域移行の目的である。

地域移行の取り組みとして、令和5年4月より、各中学校から希望を募り計40名の生徒で地域野球クラブを開設した。指導者は、少年団などで指導経験のある地域指導員4名と兼職・兼業の手続きをとった各学校の野球部顧問5名、計9名である。クラブ活動は、毎週土曜日を基本に指導者を各練習会場へ派遣し、活動している。

6月の中学校総合体育大会までは、市内3つのチームで活動し、3年生が部活動を引退した7月以降は、2つのチームに再編成し、市内合同練習2回とチーム練習2回の合計月4回の活動を行った。

次の地域移行の取り組みは、生徒数の減少により、チーム編成が困難となる、バレーボール、サッカー、バスケットボールを優先して、計画的に令和7年度までに進めていく。課題は、「指導者の確保」と「費用負担」があげられる。まず、指導者の確保につきましては、活動内容ごとに必要な資格を精査し、市内関係団体との情報共有や県人材バンクの活用を図り、人材の確保に努めていく。また、費用負担については、令和8年度以降の適切な受益者負担のあり方を検討していく。

令和5年度 中学部活動数及び部員数(1・2年生) ... 単独チーム不可

No	学校名	野球	サッカー	男子フットリス	女子フットリス	男子バスケ	女子バスケ	男子バレー	女子バレー	卓球
1	太田中	● 2	● 13	● 6	● 11	● 8	● 4		● 2	● 20
2	峰山中	● 15	● 4	● 17	● 10	● 10	● 1		● 13	● 20
3	世矢中	● 3	● 6	● 10	● 7		● 4			● 7
4	瑞穂中		● 9	● 14	● 20	● 18	● 9	● 3	● 15	● 16
5	金砂郷中	● 3	● 6	● 9	● 29	● 9	● 8	● 2	● 8	● 17
6	水府中	● 3							● 6	● 4
7	里美中						● 2			● 9
合計		5校 26人	5校 38人	5校 56人	5校 77人	4校 45人	6校 28人	2校 5人	5校 44人	7校 93人

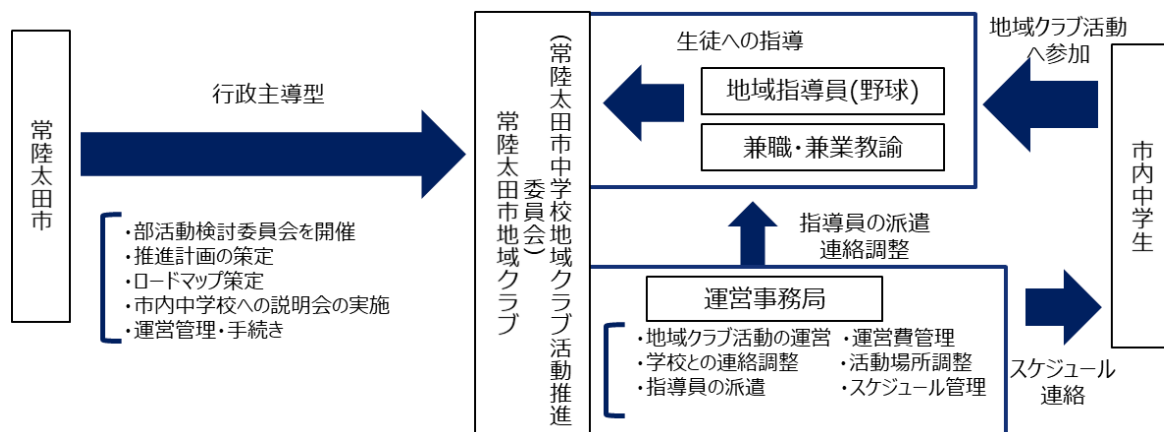
No	学校名	剣道	弓道	吹奏楽	美術	創作	文化	多目的運動	陸上	部活動 人数
1	太田中		● 12	● 15	● 13					11部 106人
2	峰山中			● 22		● 7				10部 119人
3	世矢中			● 4						7部 41人
4	瑞穂中			● 8			● 8			10部 120人
5	金砂郷中			● 23	● 4					11部 118人
6	水府中			● 6				● 1		4部 19人
7	里美中	● 6		● 5					● 6	4部 22人
合計		1校 6人	1校 12人	7校 68人	2校 17人	1校 7人	1校 8人	1校 1人	1校 6人	57部 545人

調査：常陸太田市地域クラブ推進委員会

## 2. 実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ▼運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ▼行政組織内での役割分担

- **教育委員会**（生涯学習課、教育総務課）
- ① 地域移行で試行運用する「野球部」の検証
- ② 段階的な地域移行に向けた部活動全体運営の把握及び見直し
- ③ 指導者及び地域関係団体への協力依頼等による人数把握
- ④ 生徒・保護者・教職員への説明
- ⑤ 地域クラブ活動の拠点活動場所の確保
- ⑥ 生徒・指導者の安全体制の確保
- ⑦ 学校と地域クラブ活動（指導者）との連携体制の構築
- ⑧ 人材バンク作成・登録
- ⑨ 新たな地域クラブ移行の推進

### 年間の事業スケジュール

時期	行事スケジュール	時期	行事スケジュール
令和5年 2月	全中学校在校生及び新入生・保護者への説明会実施	令和5年 7月	地域指導者、兼職・兼業教諭向け研修会②、第2回推進委員会の開催
	野球部生徒・保護者への説明会及び合同練習会の実施	9月	中学校部活動の地域移行に係る第4回検討委員会
3月	第1回推進委員会の開催（常陸太田市地域クラブ活動推進委員会 設置）	10月	地域部活動移行に関するヒヤリング（バレーボール部顧問）
	地域野球クラブ拠点校における実施準備	12月	中学校部活動の地域移行に係る第5回検討委員会
	地域指導者向け研修会①、教師の兼職・兼業にかかる説明会	令和6年 1月	地域野球クラブ実施調査（生徒・保護者・指導員・教諭）
4月	地域野球クラブ活動の活動開始、第1回野球部顧問会		地域バレーボールクラブ指導員事前説明及び研修会
	中学校PTA総会での部活動地域移行概要説明	2月	バレーボール部生徒・保護者への説明会及び合同練習会の実施
5月	市内中学校部活動数及び部員数の現状調査	3月	地域バレーボールクラブ活動の開始（新規の地域移行部活動）
6月	第2回野球部顧問会実施		事業完了報告書・成果報告書等の作成

## 2. 実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

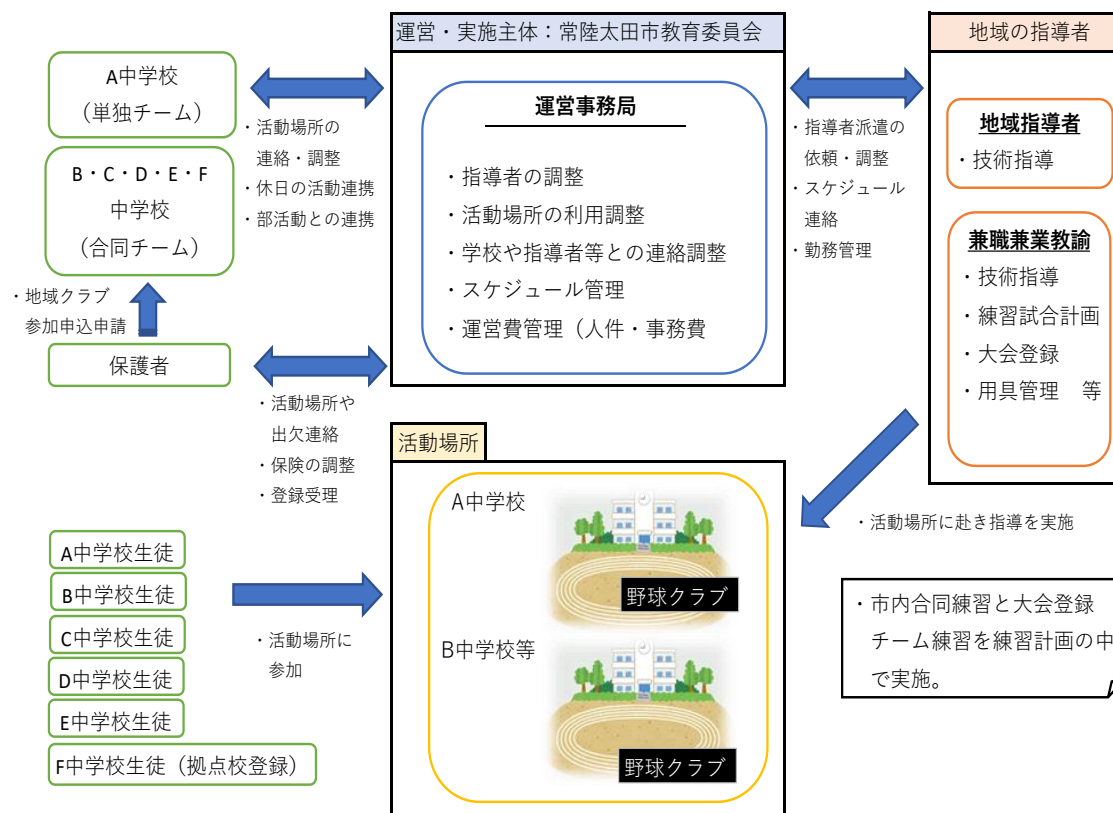
拠点校数	5 (練習場)	地域クラブ活動に取り組んだ種目	野 球、バレーボール
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	15部活		

### 主な取組例

#### ▼活動概要

クラブチーム名	常陸太田市地域野球クラブ
地域クラブ活動に移行した部活動数	野球部活動 6校
地域クラブ活動で実施した種目	野球
運営主体名	常陸太田市教育委員会
運営類型	市区町村運営型 (地域団体・人材活用型)
1か月あたりの平均的な活動回数	野球：月4回程度
指導者の主な属性	元スポーツ少年団 (監督)、スポーツ少年団コーチ、兼職・兼業職員、学識経験者
活動場所	市内中学校 グラウンド
主な移動手段	保護者送迎
1人あたりの参加会費等 (年額)	野球：保険料800円のみ
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

#### ▼運営体制図 (地域野球クラブ活動を実施する際の運営体制図)



## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保証・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ▼取組項目名：ア. 関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

#### 取組事項

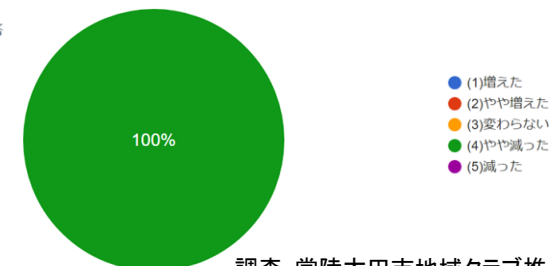
- ①野球部顧問会を計画的に実施し、平日の部活動と休日の野球クラブ活動との連携を図る。
- ②月に1回程度の割合で事務局、指導者、兼職兼業者、野球部顧問による連絡会を行い連絡調整を図る。

#### 取組の成果

野球部顧問と地域指導者の連絡会を実施することにより、平日の学校部活動と休日の野球クラブ活動との取り組み方を共有することができた。また、協議の上、地域指導員による月2回の市内合同練習と兼職・兼業教諭による月2、3回のチーム練習と分けて実施することにより、教員の休日部活動時間が平均6時間削減し教員の働き方改革につながった。兼職・兼業教諭への調査でも、やや減ったとの回答が100%だった。

5. 休日の地域野球クラブ活動の開始後、学校部活動への負担感はどう変化しましたか。

5件の回答



調査：常陸太田市地域クラブ推進委員会

#### 特に工夫した事項

地域野球クラブの運営に対して、部活動顧問から「大会出場チームとしての練習を行いたい」という要望を受け、月2回は市内合同練習、月2、3回はチーム練習として、地域クラブ活動の運営を行った。

平日の部活動と休日の野球クラブ活動との連携を図るために、市の推進委員会を通して、練習内容の共有を図った。

#### 練習体制



作成：常陸太田市地域クラブ推進委員会

#### 今後の課題と対応方針

調査の結果、兼職兼業者を含め指導者の75%が学校と地域との指導連携が難しいと考えている。平日の部活動と休日の野球クラブ活動との連携の強化をさらに図っていく。また、教員の働き方改革の一環として教諭の負担を軽減していくため、地域クラブとして大会の出場も視野に検討していく。指導者の連絡会は、月1回は実施できなかったため連絡調整し、開催の方法も検討していく。地域指導員と教諭が互いに連絡を取り合えるように、機会を設けていく。

## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保証・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保

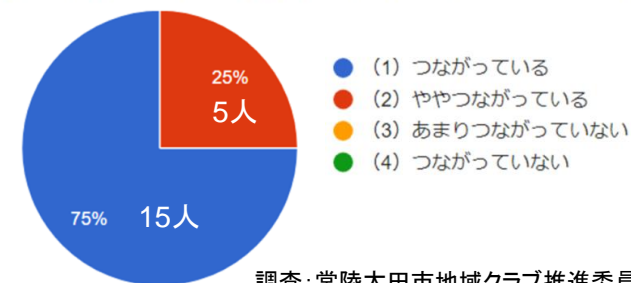
##### 取組事項

①人材の発掘・マッチング・配置に関する取り組みとして、茨城県の人材バンクの活用、又は市独自の人材バンクを今後設置し、これらを活用したうえで指導者を確保する。（市スポーツ協会・競技団体・大学・企業等と連携し、指導者を確保する計画）  
②R5年度においては、野球部から地域移行し、現在単独チームもしくは合同チームで組織する「峰山中・太田中・金砂郷中・水府中・世矢中」の5校の野球部顧問から協力を得る。

##### 取組の成果

休日の野球部活動を地域に移行し、現在単独チームもしくは合同チームで組織する5校の野球部顧問から協力を得ることにより、練習場所確保や部活動との連携がとれている。  
新規クラブを開設するために、指導者の確保をすることができた。  
指導者の研修会を行い、生徒の安全体制の確認や、コンプライアンスについての理解を深めてもらった。また、指導者の技術指導の調査では、生徒20名が「つながっている」が75%、「ややつながっている」が25%と回答があり、全員が技術向上を実感することができた。

2. 指導者の指導は、自身の技術力の向上につながっていますか。



##### 特に工夫した事項

兼職・兼業の野球部顧問の負担軽減及び生徒の練習内容の充実のために、月に2回は、地域指導員による市内合同練習を実施している。また、練習内容等は、野球部顧問と指導員で事務局を通して共有をしている。

##### 今後の課題と対応方針

市内において、人材の発掘・マッチングが課題である。指導者を派遣する上では、指導者・競技経験を踏まえた上で確保する必要があり、人材の確保が難しい。また、人材確保または、受け皿の確保の面でも、市スポーツ協会・競技団体とのつながりを密にしていく必要がある。  
指導者の質の保証の面においても、県の情報を把握し、市内でも研修会を設け、指導者の質を向上させていく。

## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保証・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ▼取組項目名：ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

①市スポーツ協会・競技団体・PTA連合会・市スポーツ少年団、市文化団体連合会等と連携し、指導者の確保及び新たに地域移行する部活動を検討する。

##### 取組の成果

常陸太田市地域部活動検討委員会では、市スポーツ協会・競技団体・PTA連合会・市スポーツ少年団、市文化団体連合会の代表が参加し、協議を行った。市スポーツ協会・競技団体・PTA連合会・市スポーツ少年団、市文化団体連合会の情報共有を行い、新たに常陸太田市地域バレーボールクラブを発足させた。

##### 特に工夫した事項

常陸太田市地域部活動検討委員会では、市スポーツ協会、市少年団、市文化団体連合会、PTA連合会の代表らから意見を取り入れ、協議を行った。また、市の情報を共有する機会となった。

##### 今後の課題と対応方針

今後、地域クラブ活動の受け皿と指導者の確保を進めるために、市スポーツ協会・競技団体・PTA連合会・市スポーツ少年団、市文化団体連合会等とさらに連携していく必要がある。競技の特性を踏まえ、受け皿としての活動できる団体も視野に入れて検討していく必要がある。



## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保証・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ▼取組項目名：エ：面的・広域的な取り組み

##### 取組事項

①野球部が中学校にない生徒も地域野球クラブ活動や拠点校チームに登録して大会に参加できるよう、中学校と連携を図る。

##### 取組の成果

地域野球クラブをきっかけに参加した中学生 1 人を拠点校登録という形で中学校と連携をとり、総合体育大会及び新人戦に出場することができた。また、拠点校を含む合同チームの練習の場として、休日の地域野球クラブを活用している。

野球部 拠点校：世矢中学校

野球部 拠点校所属中学校：2校  
(水府中学校、瑞竜中学校)

##### 特に工夫した事項

拠点校を含む合同チームの練習の場として、地域野球クラブとして活動している。  
中学校部活動の拠点校移行について連携を取りながら進めている

##### 今後の課題と対応方針

地域クラブとして大会に出場するためには、指導員の資格や大会参加費、生徒の送迎方法等の課題ある。市開催の地区大会から、地域クラブとして出場できるように検討していく。

## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保証・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ▼取組項目名：オ：内容の充実

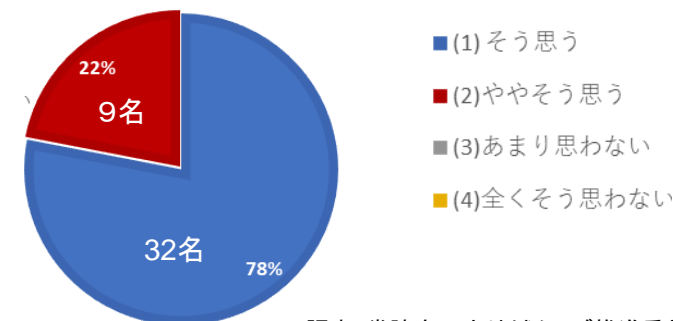
##### 取組事項

- ①教職員の時間外勤務調査や生徒・保護者、地域クラブ活動指導員にアンケートを行い、推進委員会において効果や課題を検証する。
- ②検討委員会を開催し、地域野球クラブの途中経過の確認や今後の取組について協議を行う。

##### 取組の成果

参加した中学生20人、保護者21名を対象とした調査の結果、回答者の78%が今後も休日の地域野球クラブに参加したい・させたいと思うという回答があった。また、残り22%もややそう思うという結果になった。この結果から、地域野球クラブの活動内容に満足していると考えられる。

今後も休日の地域野球クラブに参加したい・させたいですか。(41名)



調査：常陸太田市地域クラブ推進委員会

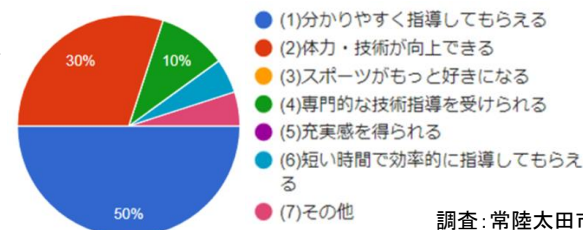
##### 特に工夫した事項

地域・学校の課題としては、単独学校ごとでは部活動の部員数が少なく練習が成り立たないことがあげられる。その課題に対し、指導者を各チームごとに派遣するだけでなく、市内合同練習を設けることで、多人数で練習できる機会を設けた。

##### 今後の課題と対応方針

参加した中学生20人を対象とした調査の結果、「分かりやすく指導してもらえる」が50%、「体力・技術が向上できる」が30%という結果になった。今後も、体力・技術面の向上につながる練習内容を充実していく必要がある。また、初心者のことも考慮してほしいとの意見もあったので、個人それぞれに対応した練習内容も部活動とクラブで連携を図り、確認していく必要がある。

8. あなたは地域クラブ活動の指導者からの指導に、どのようなことを望みますか。次のうち、最も当てはまるものを1つ選択してください。



調査：常陸太田市地域クラブ推進委員会

## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保証・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ▼取組項目名：カ：参加費用負担の支援等

##### 取組事項

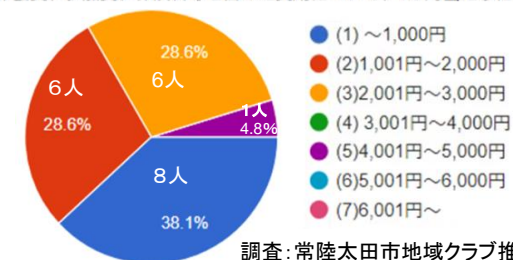
①費用負担の在り方に対する取り組みとして、R7年度末までに地域スポーツクラブ活動に対する収支を踏まえた会費の適切な設定・徴収方法・保護者負担経費について検討を行う。なお、既存の部活動における活動経費との比較や調整・管理の在り方を含め検討を行う。

##### 取組の成果

移行期間中である令和7年度までは、受益者負担は、保険料800円のみとした。地域野球クラブ保護者を対象とした受益者負担の金額調査の結果、回答者の38.1%が年額1000円以下であり、1001円以上2000円以下及び2001円以上3000円以下が28.6%の結果となった。今回の調査より、部活動移行ということもあり、受益者負担には抵抗があると考察される。今後、結果参考に、地域クラブ活動が継続的に進められるように保護者負担経費についてさらに検討していく。

9. 休日の地域クラブ活動に参加するために1か月当たり負担するのが妥当だと思う金額を教えてください。

※入会金、年会費、参加費、保険料等を含めた費用について、1か月当りに換算した



調査：常陸太田市地域クラブ推進委員会

##### 特に工夫した事項

令和5年度は、部活動地域移行期ということもあり受益者負担額は、保険料の800円のみとした。

##### 今後の課題と対応方針

地域クラブ活動を受益者負担として活動するためには、保護者の理解が不可欠であり、保護者負担経費については、今後検討し、説明をしていく。また、地域野球クラブや地域バレーボールクラブの検証をしていき、クラブ活動経費の調整・管理の在り方を含め検討を行う。

## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保証・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ▼取組項目名：キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

- ①地域野球クラブは現在2チームが活動しており、峰山中学校、金砂郷中学校、世矢中学校の3校の校庭を使用している。
- ②令和6年3月に活動開始となる地域バレーボールクラブは、金砂郷中学校、瑞竜中学校の体育館を練習拠点として使用を予定している。

##### 取組の 成果

市内中学校の施設を活動場所として設けることにより、部活動の備品を活用することができ、効率的に練習を行うことができた。

##### 特に 工夫した 事項

練習拠点となる中学校1校にキーボックスを取付け、休日の鍵の受け渡しができるようにした。これにより、前日に職員が鍵を受け取りに行く必要がなくなった。

地域クラブ担当者と部活動顧問で連絡を取り合い、練習場となる校庭や体育館の調整を行った。

##### 今後の 課題と 対応方針

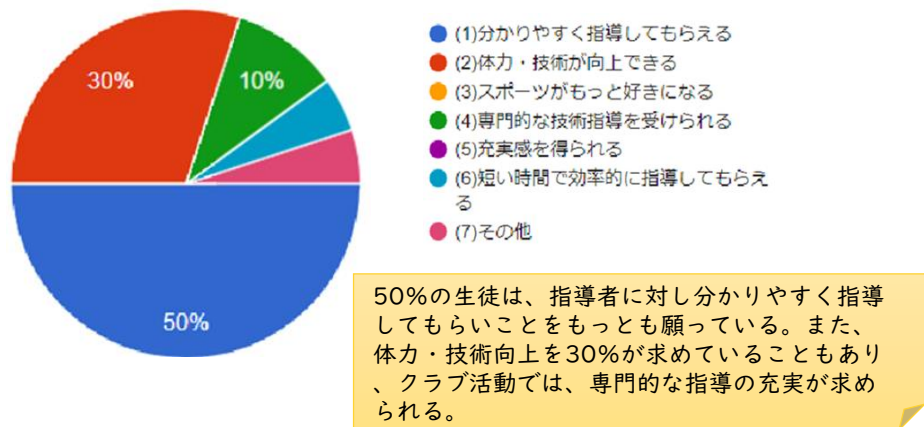
練習の備品は、各学校部活動のものを使用している。消耗品等は、予算を立てて、地域クラブからも補充できるような体制を整えていく。鍵の受け渡しについても、指導員と学校で調整できるシステムを構築していく必要がある。

## 2. 実証内容と成果

### 参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

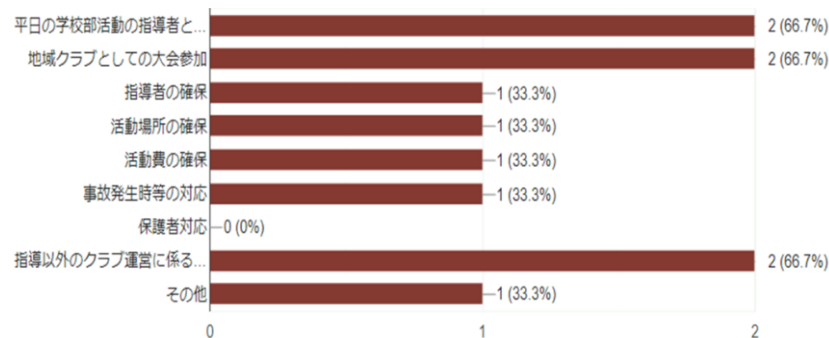
#### 【生徒：21名】

あなたは、地域クラブ活動の指導者からの指導に、どのようなことを望みますか。次のうち、最も当てはまるものを1つ選択してください。



#### 【地域指導者：3名】

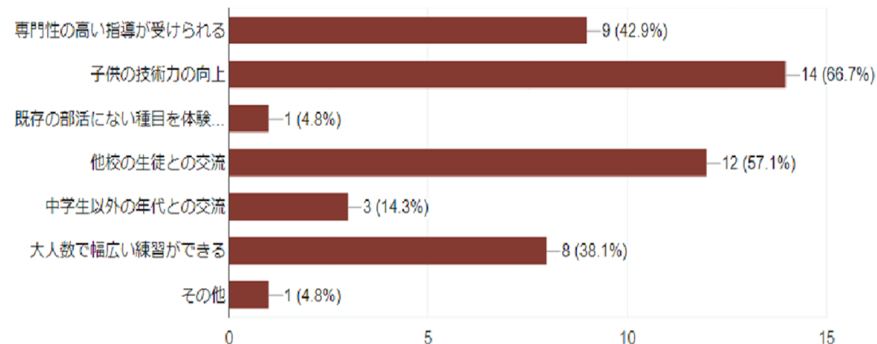
地域クラブ活動での指導にあたり、課題となっていることはありますか。（複数回答可）



地域指導者は、平日行われる部活動の指導者（顧問教諭）との連携が課題と感じている。また、大会参加の持ち方も課題となっていることから対策を検討していく必要がある。

#### 【保護者：21名】

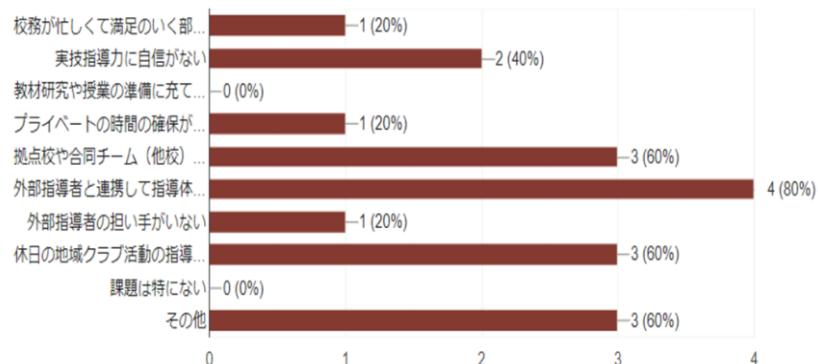
今後、常陸太田市で実施する地域クラブ活動に期待することはありますか。（複数回答可）



地域野球クラブに所属する保護者は専門的な指導のもと、子供の技術向上を期待している。また、他校の生徒との交流も57%と高いことから、他校同士が関わりをもてるような練習形態を構築していく必要がある。

#### 【兼職・兼業教諭：5名】

今後、常陸太田市で実施する地域クラブ活動に期待することはありますか。（複数回答可）



兼職・兼業教諭の80%は、地域指導者との連携が課題と感じている。互いに連絡が取れる機会を設けていく必要がある。

## 2. 実証内容と成果

### 参考資料（活動写真）



【野球クラブ 実践形式練習】



【野球クラブ ホック練習】



【野球クラブ 全体指導】



【野球クラブ あいさつ】

## 2. 実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



- 常陸太田市「中学校部活動の地域移行」に係る検討委員会
- 実施にあたって生じた課題
  - ・部活動指導者派遣による行政主導型とする。
  - ・中体連が認める複数学校による合同チームの形態とする。
- 実施内容
  - 第1回 11月10日
    - ・本市が取り組む部活動地域移行の方向性
    - ・地域部活動運営上の具体案の検討
  - 第2回 12月7日
    - ・本市が取り組む休日の地域部活動について競技種目決定
    - ・運営方法と内容
    - ・保護者等への説明と周知
  - 第3回 1月11日
    - ・令和5年度における地域野球クラブ活動について

- 常陸太田市地域野球クラブ
- 時期：4月～7月まで
- 市内3チームへ指導員を派遣
- 課題
  - ・野球部顧問と指導員の連絡体制
  - ・兼職・兼業教諭への負担
  - ・練習や大会の参加方法
- 実施内容・工夫
  - ・毎週、チームごとの練習計画に沿って指導員を派遣する。
  - ・各チームに担当指導員を決めて派遣することで、中体連に向けてチーム練習を中心に行うことができた。



- 常陸太田市地域野球クラブ
- 時期：7月下旬～
- 市内2チームで活動
  - ・市内合同練習(月2回)
  - ・チーム練習(月2,3回)
- 課題
  - ・試合や大会の対応
  - ・学校施設の利用体制
- 実施内容、工夫した点等
  - ・月に2回地域指導員を中心とした市内合同練習を取り入れることにより、練習内容が充実した。また、より専門的な指導を受けられるようになった。また、教諭の働き方改革にもつながり、休日の部活動勤務時間が減少した。



- 常陸太田市「中学校部活動の地域移行」に係る検討委員会
- 実施内容
  - 第4回 9月22日
    - ・地域野球クラブの経過報告
    - ・新たな競技種目の検討
  - 第5回 12月26日
    - ・地域バレーボールクラブ運営事項検討
- 課題
  - ・地域バレーボールクラブの入部見込み状況
  - ・保護者説明
  - ・男女共同での練習場

- 地域バレーボールクラブ保護者説会
- 日時：令和6年2月24日
- 実施内容
  - ・地域クラブの説明
  - ・指導者紹介

# 3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

